



日々前進

令和5年6月1日
倉敷市立郷内中学校 第1学年
学年日より 第3号



行ってきました！ 自然教室！！

コロナで色々なことが縮小されてきたここ3年でしたが、やっと少しずつ学校行事も通常に戻り始めました。1年生にとっての初めての大きな行事は自然教室。今年は由加山の倉敷市少年自然の家までウォークラリーをしながら歩いて行き、その後野外炊事でカレーライス作り。最後は実行委員が学年やクラスの団結力が深まるようにと考えてくれたレクリエーションを楽しみました。みんなにとってどのような一日になったでしょうか。私がこの研修でよかったと思うことベスト3は、

1. 全員がリタイアすることなく、自然の家まで歩き切った！

・・・早い班はなんと！時間ちょっとでゴール！坂道も走ってました！

2. すべての班がとてもおいしいカレーライスを作った！

・・・水っぽい、野菜が煮えていない、ご飯が柔らかすぎ・・・なんて班はゼロ！

3. 全員が誰かの頑張っているところ、いいところを見てあげていた！

・・・今、教室の前にはみんなの温かい言葉があふれています！

活動のどれもが自分一人では面白くないし、やり遂げることも難しいものだと思います。一緒に歩いてくれる仲間がいるから、困っていたら声をかけてくれ手を貸してくれる仲間がいるからこそ、できることがあるのだと感じてもらえたらと思います。そして、誰かと一緒に何かをするときには、自然とそこに一定のルールが生まれます。時間を守る、自分の役割に責任をもつ、人の話に耳を傾ける、人を気づかう。野外炊事の片付けに疲れ、うんざりした人もいたかもしれませんが、みんなが気持ちよくカレーを作り始めることができたのは、みんなの前の学校の人が頑張ってくれていたからです。そして、みんなが頑張ったお陰で、きっと次の学校の人も楽しくカレーを作れたはず。一度に全部できるようになるのは難しいですが、一つずつ学校生活の中で意識し、自分の力にしていくことができれば、それも今回自然教室に行った大きな成果になると思います。

地図を持ち
みんなでクイズ
解きながら
ゴールした時
すごい達成感

一番だ
大きい火だぞ
すぐできる
カレーにごはん
いただきまーす

由加山で
カレーを作り
食べてみて
不安だったけど
結構おいしい!!

血洗い
大変すぎて
ばててまう
厳しすぎるて
原先生!!

疲れたな
ウォークラリー
ぼくなり
歩いたけれど
ひん死をばく

テスト終了

中学生になって初めての5教科のテストがありました。終わった後のみんなの解放感を感じる顔は本当にうれしそうでしたね。1時間目のいつもよりピリッとした緊張感。みんなのがんばろうという気持ちがよく伝わってきました。これからは定期的に、このプレッシャーと戦っていかなければなりません。頑張っしてほしいと思います。

でも、頑張ればよいのはテストの時だけでしょうか？テストはあくまで、そこまで習ったことの総復習。本当に大切なのは日々の授業や宿題の中でどれだけ身に付けていけるかだと思います。そして次に大切なのは、テストが返ってきてから。自分がまだできていないところをしっかりと見つけ、そこを克服していけるように取り組めれば、一つずつ力はついていきます。

次にあるのは約一か月後！今日からの授業、そこに向けて大切にしていきたいと思います！



「言葉」

「言葉はなんのためにあるのか。なぜ生まれ、存在し続けるのか。」昨年大ヒットしたドラマの中に出てくるワンフレーズです。ドラマでは「一緒にいたいと思う人と一緒にいるために言葉があるんだと思う」とあったと思うのですが……。みんなは一緒にいたい人にどんな言葉を送っていますか。

最近、みんなの言葉を聞いて、さみしくなることがあります。「うざい」「だるい」さらには「死ぬ」「殺す」。本当に思っているのではなく、その場のノリで言っているのかもしれませんが。言う言葉は目に見えません。でもこうやって文字になってみるとどうでしょうか。目には見えないけれど、この言葉が確実に相手の心に届いているのです。

みんなはなんのために言葉を使っているのでしょうか？ぜひ、一緒にいたいと思う人と一緒にいられる言葉、そして、一緒にいたいと思ってもらえる言葉を探してほしいと思います。

自然教室でのみんなが見つけたみんなのいいところ。
見るだけで思わず笑顔になれます！こんな言葉を増やしていきましょう！



- Iさん 自分からいっぱい洗い物をしていた。
- Nさん ウォークラリーでみんなのことを考えながら歩いていてすごいと思いました。
- Kさん めっちゃきれいに米洗った。
- Tさん 朋樹さんがいるだけで場が和みます。
- Nさん でっかい鍋でもちゃんときれいにできていていいと思った。
- Hさん 困ったことがあればすぐに手助けしてくれてありがとう。
- Sさん 自分のことが終わったら何か手伝うことないって聞いて手伝ってくれた。ありがとう。
- 実行委員さん 楽しいことをたくさん考えてくれていたのがすごいと思いました。